

授業概要

生活科創設の趣旨を理解し、生活科の理論や授業の実践事例等を通して、生活科学習のポイントを講義する。内容(1)～(9)の関係を理解し、単元構成や年間指導計画・単元づくりについて具体的な事例を取り上げ講義する。指導案の作成をグループで取り組み、模擬授業のなかで教師の役割を講義する。また、保幼・小を結ぶスタートカリキュラムについて講義する

授業計画

第1回	生活科の誕生	(幼児教育と生活科 社会科と理科 学習指導要領の推移)
第2回	生活科の学び	(思いや願いを追究する体験活動を重視した学習過程)
第3回	生活科の特質	(体験 気づき 思考と表現 生活化 評価)
第4回	内容の解説①	教科書分析 身近な人や社会
第5回	内容の解説②	教科書分析 身近な自然
第6回	内容の解説③	教科書分析 自分自身
第7回	単元構成と年間指導計画について	
第8回	授業の実際	学習活動の展開と教師の役割 (探検活動)
第9回	授業の実際	・学習活動の展開と教師の役割 (制作活動)
第10回	気づきと表現	子どもの思考 学びの姿
第11回	生活科の評価	(評価計画・指導と評価の一体化)
第12回	学習指導案①	単元指導計画 本時指導案 学習活動の吟味
第13回	学習指導案②	本時案の実践 支援と気づきの質を高める
第14回	学習指導案③	発表 意見交流
第15回	アプローチカリキュラム	スタートカリキュラムの実際
第16回	総まとめ(テスト)	

到達目標

- 生活科の目標や教科の特性を他の教科と比較しながら理解することができる
- 9つの内容を組み合わせた単元構成や指導計画、学習指導案を作成することができる。
- 学習活動場面における指導者の様々な支援の在り方を理解し、活用することができる。

履修上の注意

- 資料や成果物はファイルに綴じ込み、活用できるよう毎回持参すること

予習復習

- 予習 次回の授業までに関連する範囲について教科書・資料などを読み、課題や疑問を考える。
- 復習 授業内容を再構成して整理する。関連した資料や推薦図書等を読み新たな課題意識をもつ。

評価方法

- 講義内容の理解や自己の考えを記した毎回のワークシート。
- 教材作品づくりや学習指導案などの作成や発表等。
- 授業や活動場面における参加度。
- 定期試験

テキスト

- 教科書：文部科学省『小学校学習指導要領解説・生活編』（日本文教出版）
- 小学校「生活科」の教科書が手元があれば用意